

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講師： 鈴木 邦明 先生

北海道大学大学院歯学研究科 口腔病態学講座
細胞分子薬理学 教授

演題： Na, K-ATPase に対するフッ素,

ベリリウム及びアルミニウムの作用

日時： 平成25年10月17日(木)

17時30分 ~ 19時30分

場所： 共用セミナー室12 (M&Dタワー6階)

講義要旨：フッ素 (F) やベリリウム (Be) の生体毒性が問題となるが、急性毒性の機序には不明な点が多い。我々は生体内に普遍的に存在して細胞の基本的な機能を担う Na, K-ATPase に対する、F と Be の抑制機構を研究した。その結果、アルミニウム (Al) と Be がユニークな機構で F の Na, K-ATPase に対する毒性を強めることを見いだした。これらの作用は生体内で F 及び Be が毒性を発揮する可能性のある濃度で生ずる。

略歴：北海道大学歯学部歯科薬理学講座助手を経て1988~1991年アメリカ、バンダビルト大学にて Na, K-ATPase の反応機構の研究に従事、2001年から現職

【連絡先】 大谷啓一・青木和広 硬組織薬理学分野 (内線5461)